



S.Suzuki

THE LAUREL R.C.SHO NAKAYAMA HIMBA STAKES

第43回 ローレル競馬場賞 中山牝馬ステークス (GⅢ)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 38,000,000円 15,000,000円 9,500,000円 5,700,000円 3,800,000円
付加賞 504,000円 144,000円 72,000円



レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

牝、4歳以上、2024.3.2以降2025.3.2まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

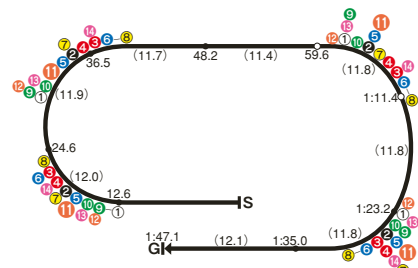
2025.3.8 中山 曇・良 芝1800m (国産) (特指)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑪	シランケド	牝5	54	M.デムーロ	1:47.1	8-9-7-7	34.7	506(-8)	5.8③	牧浦充徳(栗東)	107
2	⑦	ホーエリート	牝4	54	戸崎圭太	アタマ	6-6-6-3	34.9	478(±0)	13.6⑧	田島俊明(美浦)	106
3	⑥	クリスマスバレード	牝4	56	石川裕紀人	¾	2-2-2-2	35.3	458(-2)	3.8①	加藤士津八(美浦)	109
4	②	ビヨンドザヴァレー	牝5	54	菱田裕二	クビ	6-6-7-7	34.9	472(+2)	10.9⑦	橋口慎介(栗東)	104
5	④	フィールシンパシー	牝6	54	横山琉人	¾	4-5-5-3	35.3	462(+6)	20.8⑨	小島茂之(美浦)	
6	⑤	ジュンオレンジ	牝5	54	横山和生	ハナ	8-8-7-7	35.0	464(+2)	7.9④	長谷川浩大(栗東)	
7	⑩	シンティレーション	牝6	56	杉原誠人	クビ	12-12-14-14	34.4	478(±0)	9.1⑤	池上昌和(美浦)	
8	①	ミアネーロ	牝4	55.5	津村明秀	クビ	14-12-11-12	34.8	492(+12)	5.6②	林 徹(美浦)	
9	⑨	エミュー	牝5	53	佐々木大輔	アタマ	10-10-10-10	34.9	436(+2)	42.6⑩	和田正一郎(美浦)	
10	③	キミノナハマリア	牝5	54	菅原明良	1½	10-10-11-12	35.1	514(+10)	56.4⑫	千田輝彦(栗東)	
11	⑧	ベシヤフラーウ	牝5	51	永島まなみ	ハナ	1-1-1-1	36.4	466(-6)	147.1⑭	高橋康之(栗東)	
12	⑬	セキトバイースト	牝4	55	藤岡佑介	1	4-3-3-3	35.9	454(-6)	10.6⑥	四位洋文(栗東)	
13	③	コンクシエル	牝5	55	横山武史	1	2-3-3-3	36.1	476(-4)	25.1⑪	清水久嗣(栗東)	
14	④	ヒップホップソウル	牝5	55	北村宏司	クビ	12-12-11-10	35.5	502(-2)	70.5⑬	木村哲也(美浦)	

単勝⑪580円(3¼%) 複勝⑪200円(2¼%) ⑦320円(8¼%) ⑥150円(1¼%) 枠連⑤-⑦1,960円(10¼%)

馬連⑦-⑪3,490円(16¼%) ワイド⑦-⑪1,260円(16¼%) ⑥-⑪580円(2¼%) ⑥-⑦1,100円(13¼%)

馬単⑪-⑦5,260円(19¼%) 3連複⑥-⑦-⑪5,820円(15¼%) 3連単⑪-⑦-⑥34,820円(97¼%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
36.5 - 48.2 - 59.6 47.5 - 35.7

アラカルト

- ・M.デムーロ騎手は中山牝馬S初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算112勝目
- ・牧浦充徳調教師は中山牝馬S初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算4勝目
- ・デクラレーションオブウォー産駒はJRA重賞通算3勝目
- ・5歳馬の勝利は23年スルーセブンスーズに続く通算17回目

シランケド Shirankedo

牝 鹿毛 2020.2.7生
北海道新ひだか町 有限会社下河辺トレーニングセンター生産
馬主・株ニッシンホールディングス 栗東・牧浦充徳厩舎
馬名意味・知らんけど。知らないが(関西の方言)

デクラレーションオブウォーUSA Declaration of War 鹿毛 2009	War Front 鹿毛 2002	Danzig
		Starry Dreamer
	Tempo West 栗毛 1999	Rahy
		Tempo
フェアブルーム 鹿毛 2009	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘアIRE
	ビーフェアーBRZ 黒鹿毛 1996	Fast Gold
		Misty Moon

5代までのインブリード：Halo M4×S5 Mr.Prospector M4×S5

INTERVIEW

下河辺博代表
(有限会社下河辺トレーニングセンター)

まだまだ伸びしろがあると思います

牧場としては初の重賞制覇となり、徐々に喜びが大きくなっています。本馬は兄、姉と似た脚長でスラッとした体形で生まれたので、また同じタイプの馬が出たなと思っていましたが、その後の成長は私の想像を超えるものでした。一戦ごとに能力を出し切るタイプなのでレース間隔は空いてしましますが、まだまだ伸びしろがあると思いますので、今後が楽しみです。



R.Kaji

ウイナーの仲間入りを果たした。勝クラス特別から3連勝を飾り、重賞走権を獲得した秋華賞は回避、昨年のエリザベス女王杯も直前に出走を見合わせたものの、間隔を空けて大事に育まれてきた素質が5歳の春に開花。2勝クラス特別から3連勝を飾り、重賞

デクラレーションオブウォーの日本での初年度産駒にあたる本馬は3歳時1勝馬の身で挑んだ紫苑Sで3着に追い込み、ユニークな名前と潜在能力の高さを広く印象付けた経歴を持つ。疲れが残りにくい体質を考慮し、優先出走権を獲得した秋華賞は回避、昨年のエリザベス女王杯も直前に出走を見合わせたものの、間隔を空けて大事に育まれてきた素質が5歳の春に開花。2勝クラス特別から3連勝を飾り、重賞

父デクラレーションオブウォーUSA

英、愛、仏、北米13戦7勝(インターナショナルS・英^{G1}、クイーンアンS・英^{G1}、ダイヤモンドS・愛^{G3}、ヘリティジS・愛^L、エクリプスS・英^{G1}2着、BCクラシック・米^{G1}3着)、14年から愛、豪、米、日で供用
〔代表産駒〕**ヴァウアンドデクレア** Vow And Declare(メルボルンC・豪^{G1})、**ウォーニング** Warning(ヴィクトリアダービー・豪^{G1})、**オルメド** Olmedo(仏2000ギニー^{G1})、**グーフオ** Gufo(ベルモントダービー招待S・米^{G1})、**ファイアアットウィル** Fire At Will(BCジュベナイルターフ・米^{G1})、**デコレティドインヴェーダー** Decorated Invader(サマーS・加^{G1})、**ウイニングウェイズ** Winning Ways(クイーンズランドオークス・豪^{G1})、**エレクトリックガール** Electric Girl(ホットダニッシュS・豪^{G2})、**ヴォヤージュウォリアー** Voyage Warrior(香港スプリントC^{G2})、**シルヴァープロスペクター** Silver Prospector(ケンタッキージョッキークラブS・米^{G2})、**アーミーワイフUSA**(ブラックアيدスーザンS・米^{G2})、他に重賞勝ち馬多数

母フェアブルーム

北海道日高町 下河辺牧場生産 中央7戦0勝、地方34戦4勝。21年転売不明(17 牡父メイショウサムソン)
ワンダーポケット(18 牝父ジャングルポケット)中央2戦0勝、地方6戦0勝
シランケド 本馬(20 牝父デクラレーションオブウォーUSA)中央10戦5勝(中山牝馬S^{GIII}、魚沼S、猪苗代特別、戸畑特別、紫苑S^{GIII}3着)
獲得総賞金117,644,000円
テルケンユミカブト(21 牝父アニマルキングダムUSA)地方7戦1勝※16(生後直死)、19、22(不受胎)

祖母ビーフェアーBRZ

北米、伯5勝(マルシアーナAモレイラ大賞・伯^{G1}、エンリケポッソーロ大賞・伯^{G1}、ディアーナ大賞・伯^{G1}、マリアーナプロコピオ大賞・伯^{G3}、クルゼイロドスル大賞・伯^{G1}2着)、06年輸入、19年用途変更
ボースサイズ Both Sides(03 牝父Stravinsky)北米1勝(ノーガーダービー2着、サンレイパーク&カジノS3着)
ビーソーフェア Be So Fair(04 牝父Stravinsky)伯3勝(エルナーニAシルヴァ会長大賞^{G2}3着)、**ヴェリーナイスムーン** Very Nice Moon(イメンシティ大賞・伯^{G1}、ジョゼアントニオPアンドラデ会長大賞・伯^{G2})の母
フェアブルーム(09 前出)
サトノミラクル(11 牡父ネオユニヴァース)中央1勝、地方0勝

素質開花の5歳春、3連勝で重賞初制覇

難解とされる春先の牝馬のハンデ重賞らしく、中山牝馬Sを制した1番人気馬は2014年のフーラフライド、トップハンデを背負った馬の勝利も15年のバウンスシャッセを最後に途絶えている。対して前2年は3勝クラスを勝ち上がったばかりの新興勢力が連勝中。トップハンデタイの56歳を課された紫苑Sの覇者クリスマスパレードが1番人気に支持された今年のレースも近年の傾向通りに決着し、3着に敗れた本命馬を横目に、2、3勝クラス特別を連勝して臨んできたシランケドが豪快な強襲を決めた。

スタンド前の発走地点からゲートが開くと、ハンデ51kgの伏兵ペイシヤフがスタント前の発走地点からゲートが開くと、ハンデ51kgの伏兵ペイシヤフ

軽快に飛ばしたペイシヤフは2、3馬身のリードをつけて4コーナーを回ったが、直線に向くと後続の各馬が一斉に逆襲。坂の上りで先頭に立つたクリスマスパレードと、馬場の真ん中へ持ち出し、併せ馬の形で伸びてきたホーエリート、シランケドが勝利を争う形勢に。なかでもシランケドは一枚上の末脚を発揮。最後までしぶとく食い下がったホーエリートをアタマ差に抑えてゴールに飛び込んだ。

デクラレーションオブウォーの日本での初年度産駒にあたる本馬は3歳時1勝馬の身で挑んだ紫苑Sで3着に追い込み、ユニークな名前と潜在能力の高さを広く印象付けた経歴を持つ。疲れが残りにくい体質を考慮し、優先出走権を獲得した秋華賞は回避、昨年のエリザベス女王杯も直前に出走を見合わせたものの、間隔を空けて大事に育まれてきた素質が5歳の春に開花。2勝クラス特別から3連勝を飾り、重賞